

# 視察コース：テーマに沿った4コースをご用意いたしました。

## ① 文化・芸術からはじまる街づくりコース：岡山城・岡山芸術交流 視察

10月20日(木)、参加費：¥6,000

### 【視察先】

- ・岡山城
- ・岡山芸術交流  
(Okayama Art Summit 2016)



【岡山城】



【岡山芸術交流】

岡山城及び「アーティスト同士や来場者、地域の人たちが交流を深め、そこから新しい価値を発信していく」という意味が込められた岡山芸術交流を視察します。

※すべてのコースで視察します。

## ② 文化・芸術からはじまる街づくりコース：倉敷美観地区・大原美術館 視察

10月20日(木)、参加費：¥12,000

### 【視察先】

- ・岡山城
- ・岡山芸術交流  
(Okayama Art Summit 2016)
- ・倉敷美観地区
- ・大原美術館



【倉敷川周辺】



【倉敷美観地区街並み】

美観地区景観条例により保全された街並み、日本最初の西洋美術館大原美術館等、古い歴史文化の中に現代の人々の生活を調和させた倉敷市の街づくりを視察します。

## ③ 持続可能な社会づくりに向けた地域での学びと実践コース：旧閑谷学校・備前窯元、備前長船刀剣の里 視察

10月20日(木)、参加費：¥12,000

### 【視察先】

- ・岡山城
- ・岡山芸術交流  
(Okayama Art Summit 2016)
- ・旧閑谷学校
- ・和気閑谷高校
- ・備前焼窯元
- ・備前長船刀剣の里



【旧閑谷学校】



【備前長船刀剣の里】

旧閑谷学校の精神を現代に引き継ぐ和気町、1千年前から釜の火を絶やしたことのない備前焼窯元、そして鎌倉時代から刀鍛冶として栄えた長船町。

伝統を絶やさず後世に伝えていく3つの地域の取り組みをご覧ください。

## ④ 地方政府連携による観光振興コース：岡山・香川 視察

10月20日(木)～10月21日(金)、参加費：¥30,000

### 【1日目視察先】

- ・岡山城
- ・岡山芸術交流  
(Okayama Art Summit 2016)
- ・瀬戸内国際芸術祭
- ・栗林公園



【瀬戸内国際芸術祭】



【栗林公園】

本州、四国、九州の大きな島に囲まれた瀬戸内海。古代から人や物資が行き交う海上交通路として重要な役割を果たすと同時に、独自の文化をはぐくんできました。

その瀬戸内海を舞台に開催される瀬戸内国際芸術祭2016をお楽しみください。

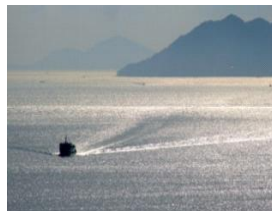
※大名庭園として名高い栗林公園内商工奨励館にて香川県知事主催の夕食会が開催されます。

### 【2日目視察先】

- ・琴平地区
- ・金比羅宮
- ・旧金毘羅大芝居
- ・うどん打ち体験
- ・倉敷美観地区
- ・大原美術館



【金比羅宮】



【瀬戸内海】

香川県の代表的な観光名所「さぬきのこんぴらさん」として親しまれている琴平地区を訪れます。海の神様、金刀比羅宮、日本最古の劇場、旧金毘羅大芝居を視察します。また、香川の名物讃岐うどん打ちを体験していただきます。

再び瀬戸内の海を見ながら、瀬戸大橋を渡り、倉敷美観地区、大原美術館を視察して帰途に着きます。

※コースの詳細についてはクリアHP (<http://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/index.html>) をご覧ください。

# ① 文化・芸術からはじまる街づくり コース:岡山城・岡山芸術交流 視察 10月20日(木) 参加費: ¥6,000.-

月日曜	発着/滞在地	交通機関	発着時刻	摘要	食事
10月20日 (木)	ホテル(岡山市) 発 岡山城 着  岡山城 発 ホテル(岡山市) 着	専用車	8:45 9:00  13:30 13:40	各ホテルより、専用車にて岡山城へ <b>岡山城・Okayama Art Summit 2016 視察</b>  昼食の後、専用車にて各ホテル又は岡山駅	昼食

\* 専用車代、入場料、昼食代を含みます。中国語、韓国語のガイド付です。  
\* 最小催行人員は20名です。



## 【岡山城】

1597年、豊臣家五大老の一人・宇喜多秀家(うきた ひでいえ)が築城した岡山城。

三層六階の堂々たる天守閣は、織田信長の安土城天守閣を模して築かれたと伝えられ、全国的にも珍しい不等辺五角形の天守台をしています。

黒い下見板張りの外観から別名「烏城(うじょう)」と呼ばれています。



## 【岡山芸術交流 (Okayama Art Summit 2016)】

岡山芸術交流 (Okayama Art Summit 2016) は、2016年10月9日(日)から11月27日(日)まで開催されるアートイベントです。

岡山市長が実行委員会会長を務め、会場は岡山城周辺の文化施設が集積する地域を中心に、世界中から招請された約30名のアーティストが出展します。

岡山芸術交流の“交流”には、「アーティスト同士や来場者、地域の人たちが交流を深め、そこから新しい価値を発信していく」という意味が込められています。

会議サブテーマにある「文化・芸術からはじまる街づくり」に対する岡山市の取り組みをご覧ください。

## Development / 開発

岡山芸術交流 | Okayama Art Summit 2016  
10.9.2016 - 11.27.2016  
[www.okayamaartsummit.jp](http://www.okayamaartsummit.jp)

主催: 2016年10月9日(日) - 11月27日(日)  
会場: 岡山県立岡山文化センター、岡山県立美術館  
岡山県立岡山文化センター、岡山県立美術館、岡山城、岡山県立美術館、岡山県立美術館、岡山県立美術館  
2016年10月9日(日) - 11月27日(日)  
会場: 岡山県立岡山文化センター、岡山県立美術館、岡山県立美術館、岡山県立美術館、岡山県立美術館  
Host: Okayama Art Summit Executive committee

②文化・芸術からはじまる街づくりコース： 倉敷美観地区・大原美術館 視察  
10月20日(木) 参加費：¥12,000.-

月日曜	発着/滞在地	交通機関	発着時刻	摘 要	食事
10月20日 (木)	ホテル(岡山市)発 岡 山 城 着	専用車	8 : 4 5 9 : 0 0	各ホテルより、専用車にて岡山城へ <b>岡山城・Okayama Art Summit 2016 視察</b>	昼食
	岡 山 城 発 倉 敷 着		1 1 : 3 0 1 3 : 3 0	昼食の後、専用車にて倉敷へ <b>倉敷美観地区・大原美術館 視察</b>	
	倉 敷 発 ホテル(岡山市)着		1 7 : 0 0 1 8 : 0 0	専用車にて各ホテル又は岡山駅へ	

- \* 専用車代、入場料、昼食代を含みます。中国語、韓国語のガイド付です。
- \* 最小催行人員は20名です。



【岡山城】  
【岡山芸術交流 (Okayama Art Summit 2016)】

①【半日コース】をご参照下さい。



【倉敷美観地区】

江戸時代、幕府直轄地である「天領」として栄えた倉敷。高瀬舟を使った水運によって備中地方の特産物が集まり、その中心である倉敷川畔には、豊かな商人の町家や白壁の土蔵が立ち並びました。荷車が往来した石畳の路地も白壁の土蔵と相まって懐かしい風景を今に伝えています。



現在でも人々が暮らしており、小さな路地裏に当時の建物が修復・再生され、ギャラリーや喫茶店、土産物などの個性的な店舗として利用されています。

かつて物資を積んだ川舟の往来でにぎわった倉敷川。その風情を味わえる観光川舟が運行されています。ゆったりと進む舟に腰を下ろして眺める白壁の街並みは川舟流しならではの表情を見せてくれます。



【大原美術館】

昭和5年、倉敷の実業家大原孫三郎が設立したもので、西洋美術、近代美術を展示する私立美術館としては日本最初のものです。

ギリシャ神殿風の本館の中には世界画壇の巨匠作品が多数展示されており、ツタにおおわれた石垣、門を入るとロダンの彫刻「洗礼者ヨハネ」「カレーの市民」の像が迎えてくれます。



隣接して、分館、工芸・東洋館があり、倉敷アイビースクエア内に児島虎次郎記念館があります。

### ③ 持続可能な社会づくりに向けた地域での学びと実践コース:

旧閑谷学校・備前窯元・備前長船刀剣の里 視察

10月20日(木)

参加費: ¥12,000.-

月日曜	発着/滞在地	交通機関	発着時刻	摘要	食事
10月20日 (木)	ホテル(岡山市)発 岡山城着	専用車	8:45 9:00	各ホテルより、専用車にて岡山城へ <b>岡山城・Okayama Art Summit 2016 視察</b>	昼食
	岡山城発 備前市・瀬戸内市着		11:30 13:30	昼食の後、専用車にて備前市へ <b>旧閑谷学校・備前焼窯元、備前長船刀剣の里 視察</b>	
	備前市・瀬戸内市発 ホテル(岡山市)着		17:00 18:00	専用車にて各ホテル又は岡山駅へ	

\* 専用車代、入場料、昼食代を含みます。中国語、韓国語のガイド付です。

\* 最小催行人員は20名です。



#### 【岡山城】

#### 【岡山芸術交流 (Okayama Art Summit 2016)】

①【半日コース】をご参照下さい。



#### 【旧閑谷学校】

**旧閑谷学校**(きゅうしずたにがっこう)は、日本で初めて庶民にも学問の機会を開いた学校です。岡山藩主・池田光政が1670年に開設、講堂は1701年の建築で、儒学の殿堂にふさわしい様式で、学校建築としては唯一国宝に指定されています。

建学の精神となったのは孔子の教えであり、貴重な教育遺産である講堂では論語朗読などの学習プログラムが行われています。

**旧閑谷学校**の伝統と精神は、現在**和気閑谷高校**に受け継がれており、ここは今年で346年を迎える、日本で最も長い歴史と伝統を誇る高等学校です。

地域について学び、地域課題を解決することを目指す「閑谷学」を設定し、生徒が旧閑谷学校を案内するボランティアを実施するなど、地域づくりに貢献しています。

2011年にはESDの推進拠点としてのユネスコスクールに登録されていますが、伝統を重んじるという持続発展教育の基盤はそれ以前から存在していたことがわかります。

今回の視察では**旧閑谷学校**の他、**和気閑谷高校**訪問、生徒による学校紹介、意見交換などのプログラムも現在検討中です。

会議のサブテーマである“**持続可能な社会づくりに向けた地域での学びと実践**”の先駆者が造った学校をご覧ください。



#### 【備前焼窯元】

備前は、日本の六古窯といわれている瀬戸・常滑・丹波・越前・信楽・備前のなかでも、もっとも古い窯場と言えます。須恵器の時代から備前焼になり、無釉焼き締め  
の伝統を守りつづけ、一千年の間、窯の火は絶やしたことがないのが備前焼です。

現在は茶器・酒器・皿などが多く生産されています。「使い込むほどに味が出る」と言われ、派手さはないが飽きがこないのが特色です。



#### 【備前長船刀剣の里】

鎌倉時代(1185年頃)より日本刀の一大産地として栄えた長船の地。全国的に少ない日本刀の常設展示館の備前長船刀剣博物館、日本刀鍛錬を行う備前長船鍛刀場を視察します。



④ 地方政府連携による観光振興コース：岡山・香川 視察  
10月20日(木)～21日(金) 参加費：¥30,000.-

	月日曜	発着/滞在地	交通機関	発着時刻	摘 要	食事
1 日 目	10月20日 (木)	ホテル(岡山市)発 岡 山 城 着	専用車	8 : 1 5 8 : 3 0	各ホテルより、専用車にて岡山城へ <b>岡山城・Okayama Art Summit 2016 視察</b>	昼食
		岡 山 城 発 新 岡 山 港 着	専用車	9 : 3 0 9 : 4 0	専用車にて新岡山港へ	
		新 岡 山 港 発 小 豆 島 着	フェリー	1 0 : 3 0 1 1 : 4 0	フェリーにて小豆島へ <b>瀬戸内国際芸術祭 視察</b>	
		小 豆 島 発 高 松 港 着	フェリー	1 4 : 4 5 1 5 : 5 0	フェリーにて高松港へ	夕食
		高 松 港 発 栗 林 公 園 着	専用車	1 6 : 0 0 1 6 : 1 5 1 7 : 3 0	専用車にて栗林公園へ <b>栗林公園、掬月館、栗林庵視察</b> <b>栗林公園商工奨励館にて香川県主催夕食会 (浜田恵造知事出席)</b>	
		栗 林 公 園 発 ホテル(高松市)着	専用車	1 9 : 3 0 2 0 : 0 0	専用車にて高松市内ホテルへ ・高松ホテル泊	

- \* 専用車代、入場料、2日間の昼食代、20日の夕食代、21日の朝食代を含みます。中国語、韓国語のガイド付です。
- \* 20日の宿泊はお一人1部屋で、代金に含まれます。21日の宿泊手配はこのツアーには含まれません。
- \* 最小催行人員は20名です。



【岡山城】  
【岡山芸術交流 (Okayama Art Summit 2016)】

①【半日コース】をご参照下さい。



【瀬戸内国際芸術祭】

瀬戸内海は、日本列島の本州、四国、九州の大きな三つの島に囲まれた、日本最大の内海で、古代から人や物資が行き交う海上交通路としても重要な役割を果たしてきました。島々や沿岸では、人・もの・情報を柔軟に受け入れながら、それぞれの文化や伝統を形成してきました。そのような文化や伝統を地域の資源として生き返らせたのが、「瀬戸内国際芸術祭」です。瀬戸内海の島々が「あるものを活かし新しい価値を生み出す」という方針の下、県や市を超えて結びつき、瀬戸内でしか見ることが出来ない数々の作品を生み出しています。

本視察では、中でも小豆島を訪れます。小豆島は、1400万年前に起こった瀬戸内海の火山活動によって誕生し、寒霞灘をはじめとする山や海の自然美にあふれた島です。また、小豆島八十八ヶ所霊場の信仰の島として知られています。

今年2016年は、3度目の瀬戸内国際芸術祭が開催されています。アートと合わせて小豆島の魅力をたっぷりお楽しみください。

【栗林公園】

江戸時代、讃岐高松藩の歴代藩主により百年余りの歳月をかけて完成、下屋敷として利用されていました。

現在では、特に重要な文化財庭園として国の特別名勝に指定され、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」では三つ星に格付けされました。

日本を代表する大名庭園として国内外から高い評価を得ています。



④ 地方政府連携による観光振興コース：岡山・香川 視察  
 10月20日(木)～21日(金) 参加費：¥30,000.-

	月日曜	発着/滞在地	交通機関	発着時刻	摘 要	食事
2 日 目	10月21日 (金)	ホテル(高松市)発 琴平地区着	専用車	8:15 9:30	各ホテルより、専用車にて琴平地区へ	朝食
		琴平地区発 倉敷着		13:45 15:00	<b>旧金毘羅大芝居、金刀比羅宮・表書院を視察</b> うどん打ち体験、昼食 専用車にて倉敷へ	昼食
		倉敷発 ホテル(岡山市)着		16:30 17:30	<b>倉敷美観地区・大原美術館 視察</b> 専用車にて各ホテル又は岡山駅へ	



【旧金毘羅大芝居】

天保6年(1835年)に建立された現存する日本最古の芝居小屋で、国の重要文化財に指定されています。

2階建てで299坪の広さを持つ建物の内部にはワクで仕切られた観客席と舞台が「高窓」と呼ばれる明かり窓から射し込む日の光のなかに浮かび上がり、静かな風情を感じさせます。

「廻り舞台」や「せり」などの人力の仕掛けを持った舞台装置が、今も当時のままに残されており、江戸時代そのままの情緒を漂わせています。



【うどん打ち体験】

本場さぬきの手打ちうどんの作りかたを、プロの職人が、粉を練るところから始めて、麺棒でのばし、茹でて食べるまで、40分～60分で伝授いたします。作った後は試食、自分で作って食べるうどんの味は格別です。



【金刀比羅宮・表書院】

古くから「さぬきのこんぴらさん」として親しまれている海の神様です。参道の石段は奥社までの合計は1368段にも及び、広い境内には由緒ある御社や御堂が点在します。

宝物館や書院には第一級の美術品や文化財が陳列され、参道両脇には土産物や讃岐名物のうどん店が並び、いつも賑っております。



【倉敷美観地区】

江戸時代、幕府直轄地である「天領」として栄えた倉敷。高瀬舟を使った水運によって備中地方の特産物が集まり、その中心である倉敷川畔には、豊かな商人の町家や白壁の土蔵が立ち並びました。荷車が往来した石畳の路地も白壁の土蔵と相まって懐かしい風景を今に伝えています。



【大原美術館】

昭和5年、倉敷の実業家大原孫三郎が設立したもので、西洋美術、近代美術を展示する私立美術館としては日本最初のものです。

ギリシャ神殿風の本館の中には世界画壇の巨匠作品が多数展示されており、ツタにおおわれた石垣、門を入るとロダンの彫刻「洗礼者ヨハネ」「カレーの市民」の像が迎えてくれます。

